

N
03
011

With

ウィズセンター情報誌

INDEX

特集 ウィズフェスティバル2000

- 講演会 女が変わる 男が変わる そして社会が変わる
 - 登録団体自主企画
 - 講演会参加者の声を聞きました
- ストーカー規制法の仕組み
ウィズライブラリー



2001
1
vol.11

ウィズフェスティバル2000 開催

みんなで輝こう～女が変わる 男が変わる～

「5・4・3・2・1…」くす玉が割れて、ウィズフェスティバル2000が華々しく始まりました。「ぼこ・あ・ぼこ」のコーラスのあと、石井岡山県知事が「男女共同参画社会の実現こそが21世紀の岡山県政の最重要課題です。横の連携をさらに強めて、一致団結し、男女が共に光り輝く岡山を目指しましょう。」と開会のあいさつを行いました。

ウィズフェスティバル2000は、ウィズセンターを拠点に、さまざまな活動をしている団体・グループが、日頃の学習成果・実践活動の報告・発表・交流など、すべての企画を計画の段階から実施運営まで、手づくりで行った県民が主体のイベントです。



11月3日～5日までの3日間、男女共同参画社会の実現に向けて、多彩な企画事業が意欲的に繰り広げられました。

本号では、みんなで輝いたウィズフェスティバル2000の模様をご紹介します。



ウィズフェスティバル2000 スケジュール

11月3日(金)	<p>開会式</p> <p>登録団体交流会 「団体PR・活動発表」など</p>	展 示
11月4日(土)	<p>自主企画 「おい・老い・行こか！」 「先ず 寄ろうや」 「今、私達に何が！皆で考えよう」 「あなたの生き方再点検」 「氷の壁をのりこえよう！」 「女性は何故 土俵に上がれないのか？」 「いくつかになっても 自分らしく PART II」</p>	
11月5日(日)	<p>「男女共同参画社会の実現のために」 「イギリス研修旅行報告会」 「モモタロー・ノー・リターン」</p> <p>辛淑玉さん講演会</p> <p>閉会式</p>	

「みんなで輝いた3日間」

ミレニアムの年、国連特別総会「女性2000年会議」が、「21世紀に向けた男女平等・開発・平和」をテーマに6月にニューヨークで開催されました。

ウィズセンターにおいても石井県知事・福田県議会議員・喜多嶋ウィズセンター運営委員長をお迎えして、文化の日11月3日から3日間、「ウィズフェスティバル2000」を開催いたしました。

フェスティバルの開催にあたり、24名の実行委員が総務部・事業部・広報部に分かれて、2つの目的「男女共同参画が広く県民に理解されるように広報に努める」、「21世紀に向かって私たちがどのように変わっていきけるのか」に向かって、7月より、知恵を出し合い、汗をかきながら協力してまいりました。

この3日間は、登録団体交流会そして自主企画等のプログラムを繰り広げ、また最終日の5日には現在ご活躍の辛淑玉（シン・スゴ）さんによる講演会を開催しました。このフェスティバルが辛淑玉さんの講演のテーマである「女が変わる・男が変わる・そして社会が変わる」きっかけとなったことを信じてともに、今後大きく変わっていくことを願っております。

終わりにウィズフェスティバル2000の開催にあたり、ご協力いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

ウィズフェスティバル2000実行委員会
委員長 時實達枝

講演

女が変わる 男が変わる そして社会が変わる



講師 辛 淑玉 (シン スゴ) 人材育成技術研究所所長

在日コリアン3世として東京で生まれる。人材能力育成プログラム開発、育成環境開発を行う傍ら、大学・専門学校・ビジネススクールなどにおいて公開講座を担当。

女性人材の育成では定評を持つ。新聞・雑誌への執筆の他、コメンテーターとしてテレビ、ラジオ番組に多数出演。

女性の研修は残りの5万円

私は、企業内研修とって、ビジネスマンが研修を受ける会社を経営しております。日本の企業というのは、女の研修にお金をかけません。例えば1000万円あったら、995万円までは男の研修に使って、残りの5万円を女の研修に使うわけです。それも、お茶くみ研修、笑顔研修、身だしなみ研修、そんな研修ばかりなのです。昔の新人研修というのは、例えば報告の仕方や電話の取り方、名刺の受け渡し方とか、基本的なことをやっていたんですが、今の新人研修は「失業したときにいかに生きていくのか」ということから入ってゆくのです。研修の内容も、それぐらい変わりました。

同じ企業に3、4回行きますと、あの会社はもうだめだね、というのがわかります。研修会場で、昨日も今日も、同じ人が同じ席に座っているような会社はほとんどだめです。ずっと社長と一緒に、これは全くだめです。人の移動があるところは非常に新しいものを生んでいくのです。講演会や会合でどの席に座るかによって、皆さん方の心、傾向が分かります。例えば、ただ座っているだけの人、客観的に一步引いている人、ごねる人など様々です。どの席が一番ということではなく、どの席もいなければ組織は成

り立ちません。今は、「和」なんて言っている時代ではないのです。今は、異質の「異」です。それぞれがともに異なっているということが非常に美しく、新しいものを生む時代なのです。

変わらない男の社会

さて、話は変わって、なぜ演歌が売れなくなったのか考えてみてください。実は演歌というのは、女の落ちぶれ話なのです。女がぐっと耐えて生きて行くといった歌詞が多いのです。そういったことに対して、金を払う時代ではなくなりました。かつてはそういう女の生き方が美しいとされてきましたが、今は違います。女はものすごく、劇的に変わりました。

ところが、男社会はまったく変わっていません。女の変化に比べると、男社会はなかなか動きません。今まで、男と同じことをすることが、女の社会進出だと言われてきました。つまり、いろんなものを男と同じにしなければいけないというふうになってくるから、ものすごく犠牲が多いわけです。そして、企業戦士みたいになって、ぼろぼろになってしまうわけです。

私たちは人権とか男女共同参画といったときに、男の人がどういう生き方をしてきたか、また何が求められているかということ整理できません。そこで、分かりやすい数字を例に出してみたいと思います。



3つの約束？！

男の人たちと妻との対話は1日平均5分という結果がでています。

ある勉強会に行ったときのことで、1時間の研修が終わったあと、一人の男性に『最近女房が口をきいてくれないのだけど、どうしたらいいかな』と言われ、半分冗談で「いまから言う3つを守ってください」と申しました。

第一条 朝起きたら、お連れ合いの顔を見て「かわいいね」

第二条 お昼、連れ合いにケイタイ電話をかけて「君が好きだよ」

第三条 夜、寝る前にしっかり抱きしめて「かわいい」

この3つを2週間続けて妻に言ってあげてくださいと申しあげましたら、2週間後にはがきが1枚来て、『おかげで夫婦、円満です。(半分冗談で)』5分間の妻との会話で、そういうことはほとんど話していないということです。

では、子どもとはお話をするでしょう。中学生にアンケート調査をいたしました。「あなたはお父さんとお話をしますか」と聞きました。そしたら、「私は父と1日1回でも話をする」と言ったのは、男子で8%、女子で3%、平均6%でした。ほとんど話していないということです。話さない子どもたちに、「あなたは何でお父さんと話をしないのですか」と聞くと、おもしろい返事が返ってきました。

第一位 お父さんに時間がない

第二位 お父さんと話す内容がない

第三位 お父さんに話しかけても、お父さんは最後まで聞いてくれない

第四位 お父さんに話しかけるとお父さんが怒り出す

明らかに父親の側に何らかの問題があります。夫婦でも親子でも話をしない日本の男たちはいったいどこに行き、誰と話しているのでしょうか。

「26分」は変わらない

では、日本の男の育児時間は、平均何分かということ、「3分」です。家事労働はどうでしょう。1970年、いまから30年前の男の人は、平均1日26分でした。25年後の1995年、全く変わらず「26分」です。つまり、男のライフスタイルは25年間1分も変わってなかったのです。朝から晩まで企業や組織の中で群れて、家事や育児もできず、子供と戯れることもできません。ちなみに、26分というのは専業主婦の夫です。では共稼ぎの夫は何分かということ、「21分」とさらに少ない結果なのです。妻が外で働こうとすると夫は、家事と育児を完璧にやるんだったら、外

に出てもよいと言うのです。男の賃金100円に対して、女の賃金は正社員で60円です。でも、60円から上がっていくような昇進のシステムはなく、ずっと雑務をやらされてきたのです。その大半の女の人は、パート、アルバイトで、パート、アルバイトは男100円に対して、女は朝から晩まで働いて50円です。家事や育児をやっていたら、朝から晩までできませんので結局、男100円に対して女は10円、20円になってしまうわけです。そうすると、夫は、妻が働いていても、自分が食わせてやっている、という気持ちになってしまうのです。それでは女の能力そのものが、全く正当に評価されておりません。

逆に、生命保険の外交などやっていて、夫の2倍も3倍も稼ぐ人がいるわけです。自分より稼ぐ妻の代わりに、家の仕事をするかというと、絶対やらないでしょう。そうすると、外で夫より稼ぎ、家へ仕事もやって、夫の世話しなければなりません。つまり働く女は、ずっと男のおしおきを受けながら働かなければならないのです。残業で帰りが夫より遅くなると、夕飯の支度をしなければと焦るでしょう。つまり、休める男の家はあるが、働く女が休める家はありません。

ものすごく臭いリストラ

妻とも、子どもとも話をしない。育児もやらない。そして家事労働もやらない。この男たちは本当にしあわせだったのでしょか。会社は人間関係を一番重視して、アフターファイブも群れていないと許しません。私は、日本のリストラはものすごくくさいな、と思っています。入れるときに能力をはかっていないのに、切るときだけ能力をはかるわけです。切る人間が切るだけの能力があるのかと言ったら、あ、ません。順送り人事だから、次はあなたがこれやってください、と言われるだけなので、そういう人に能力があるわけではありません。そうすると、採用される側と切られる側だけが能力を問われるわけです。一番問題なのは、日本の企業のトップが、一度として能力を問われたことがないということです。無能であっても、なんでも、ちゃんと経営者としてずっといるわけです。だから日本のリストラというのはすごくそがなくて、人間関係から遠いやつからどんどん捨てるのです。

また、一度、辞めて転職すると、どんどんスパイラルダウンしていき、給料がどんどん下がっていくわけです。だから、どんな状況の中でも、その組織の中で生き残ろうと思うと、自分の自我を殺して、なんでもハイハイとやっていかなきゃいけないわけです。

お父さんは透明人間

これは本当にあった話なのですが、ある大学生のお家で、レストランにあった父親が、いつもはいないはずの日曜日に新聞を広げてご飯を食べていました。ぱっと見てお父さんだけいましたが、彼はこう言いました。「なんだ、今日は誰もいないのか。」お父さんは透明人間になってしまったのです。

これを漁師町の商工会で話したら、若い30代の経営者が、「親父の威厳が下がったちゅうのは、給料を銀行振り込みにしたからですよ。30日親父がいなくても、31日目に懐に札束を抱えて、『ああ今帰ったぞ』と言うと、女房、子どもは『まあ、ありがとう』となります」と言いました。銀行振り込みにしてしまったから、親のありがたみがわからないというわけです。

つまり結局、金による支配なのです。男は金以外に家族と人間関係を築くことができなかつたのです。父親は、お金がなくなった瞬間、家族との関係が切れてしまうのです。つまり、男の価値は長いこと金だけだったんです。それは、男でなければ社会が金を払わなかつたからです。同じ能力があつても、男には賃金を払つたが、女には払いませんでした。

ところが、男が100円稼いで、女も100円稼げる時代になったら、どうなるでしょう。お父さんが、「もう疲れたよ」と言つたら、「大丈夫よ、私が変わつてやるから」と言えるわけです。男の価値は金ではなくて、本当に彩りをもって、さまざまな人がいる、ということが見えてくるでしょうし、人を愛することでもグンと変わってくるでしょう。今は、雇用機会均等法というのが改正されて、女の能力を疎視するような環境をなくし、賃金も男100円に対し、女100円払わなければならないということが、法律で決められたわけです。つまり、法律が応援してくれる、社会がバックアップしてくれるようになったということです。

ちょっとわがままに！

今まで女というのは、いつも努力を強いられてきました。夫からの暴力や痴漢の被害に遭うと、女性の方が非難されてきました。身を守らなければいけないのも、気をつけなければならないのも女であつたわけです。しかし、他人であつても、夫婦であつても、殴つたらその時点で犯罪です。ドメスティックバイオレンス、夫、恋人の暴力、それに対して泣き寝入りしてはいけません。あなたの体は絶対に、あなたの意思に反して、どんな状況でも触られたらはいけません。それは殴られてもいけないということです。ということは、女性にとって社会全体がものすごく大きく変わったということです。

今までの社会は、男が家事や育児をする権利もなかつたし、ほっとする権利、また泣ける権利もありませんでした。男はそういう生き方を強いられ、女はそういう男と一緒にすることが平等と考えられてきました。しかし、今は違うわけです。新しい法律は女の人にがんばれと言っただけではなく、男の人にももっと人間らしく生きていいよと言つたのです。つまり、かつての男らしさを維持していく社会はなくなつたのです。

今は、私が私として生きるという「私の社会」です。男らしさ、女らしさと、何々らしさというのは人間に階級をつける考え方です。差別を生みます。エスカレーターの行き先は戦争です。戦争というのは、差別する気持ちがないとできませんし、人を殺すというのは、「あいつはおれより価値のない人間だ」と思わないとできません。それは、レッテルをはることであり、私達はそういうものに惑わされています。

だから私たちは、これが正しいと思つたことすべてに対して、ちょっと違うのではないかと思わなければなりません。

一番大事なのは、私が私として生きるということです。ちょっとわがままになって、今までみたいに我慢せず、言語を武器にしながら、私は私として生きていってください。



登録団体交流会 ひろげよう ネットワーク



交流会は登録団体が年に一度集まって、お互いの団体の活動をPRする機会です。ウィズフェスティバルの第1日目に開催することによって交流を深め、その後の催しをスムーズに行うことを目的としています。参加35団体、81名がみんなで市場尚文さんのギターにあわせて歌を歌うところから始まりました。前半に8団体、3分間を持ち時間としてPRを行い、中ほどで大口好子さんによる手品の披露がありました。後半も8団体のPRがあり、2日目からの自主企画のチラシの配布などが沢山配られました。また、さっちゃん・ゆみちゃんによる漫才で大笑いしながらも、男女共同参画をわかりやすく伝える内容に感心しました。

おしゃべりタイムに入り、自由に動いてチラシや名刺の交換をしたり、お茶を飲んだりして、最後にもう一度、市場さんと共に〈花〉を歌って閉会しました。

EMPOWERMENT

登録団体自主企画

いきいき・わくわく・ジャンプアップ

手づくりミュージカル ドラネコ座

ミュージカル『おい・おい・行こか!』

突然アルツハイマーになった珠子さん。珠子さんを取り巻く家族や老人会の仲間たちの心配・苦悩・老人ホーム探検を通して、ひとりひとりが、「自分らしく生きること（自己実現）」・「自分で決めること（自己選択、自己決定）」「共に生きること（共生）」の大切さに気づいていくというストーリー。

「勉強になった。」「もっと多くの人に観せてあげたい。」等、嬉しい感想をいただきました。公演後、みなさんと交流する時間が持てたらよかったです。



(社)岡山県看護協会

パネルディスカッション『先ず 寄ろうや』 ～みんなが参加する 地域づくり 子育て 介護～

私達の職能団体は、地域住民とのネットワークづくりに積極的に参画し、そのことを大切にしております。今回もよい機会として、テーマ「先ず寄ろうや」とし、パネラーの共通認識としてのキーワードを「支えあう」とした。

少子高齢化が進む中で、過疎地域の人々が地域活性への活動に取り組んでいる実情、夫が、妊娠・立会い分娩・子育てに関わっていく中で子供や奥様に対する深まる愛情からご自身も変化したこと、母親の突然の脳梗塞による家族の戸惑いから、看護職のサポートによって明るく、無理なく、むしろ家族が一体となって在宅での看護に取り組まれている様子を話された。

三者三様の内容から「先ず寄って話し合い、理解しあい、支えあう」ことが如何に大切なことかを改めて感じました。終了後は、久しぶりに爽やかな気持ちになりました。



ウィズセンターを拠点にさまざまな活動をしている団体・グループが、日頃の学習成果・実践活動の報告・発表・交流などの企画を、計画から実施運営まで、全て手作りで実施した県民が主体の事業です。

ワークショップや朗読劇、作品・パネル等の展示、相談コーナーの設置など、男女共同参画社会の実現に向けての企画事業が意欲的に繰り広げられました。

岡山県婦人問題懇話会 シンポジウム

『今、私達に何が！皆で考えよう』

昨今の青少年のかかわる極めて深刻な諸問題の重要性をふまえ、その健全育成をめざし、当会に何ができるかシンポジウムを開催した。

子育ての原点にかえることでパネラーの概ねの意見が一致した。誠に有意義な結果を得た。

パネラーは向かって右から、日本助産婦会岡山県支部、母子寡婦福祉連合会、栄養士会、更生保護婦人連盟、岡山友の会、の皆さんです。



C-Tくらぶ

展示とコミュニケーションスキルの演習 『あなたの生き方再点検』

選択理論（現在に焦点をあて、現在を充実して生きると未来も過去もよいものになる）を紙芝居にして、その後、今、プラス思考で生活をしているかマイナス思考でいるか検証しながら、プラス思考で考えるとずいぶん変わり、人とのかわりが変わるといった内容のワークショップをしました。

参加者の中に「過去と他人は変えられない」の言葉にその通りなんだ。友に学びたいとのアンケートもありスタッフは喜んでます。



世界女性会議岡山連絡会 問題提起・意見交換

『水の壁をのりこえよう！』

～ライフサイクルの中の“教育”を考える～

学校教育、生涯教育、男女共同参画推進の調査から、日本の「学校教育」と「生涯教育」における現状（成果・障害）を認識し、女性が社会的・経済的な自立をめざすための、課題・方策（ビジョン）を考えた。

参加者からは、現状を踏まえた意見が続出し、地域でお互い協力して、いろいろな分野で「男女平等参画社会」実現に向けて取り組むことが確認できた。



メンズリブフォーラム岡山

ワークショップ

『女性は何故 土俵に上がれないか？』

～世間の一員から個人へのパラダイムシフト～

迷信・偏見が生まれる背景について、丙午（ひのえうま）迷信を課題にワークショップ形式で検討しました。

明治39年より昭和41年の方が2倍以上影響を受けていた事実は、科学が発達しても、自分で主体的にしっかり考えない所に迷信や偏見が継承されることを教えています。

狭い世間だけの常識や偏狭な考えが、迷信・偏見・差別を生み、「独自の文化」を守る等の理由で女性の「土俵入り」を許さない動きにつながる事が分かっていただけだと思います。



登録団体自主企画

-いきいき・わくわく・ジャンプアップ-

レインボーパンサーズおかやま
専門家によるお話と実技指導『いくつになっても 自分らしく PARTⅡ』
～元気なからだへの「貯筋」～

高齢になっても自分らしく生き生きと暮らしたいもの。

元気なからだであるために今もっている筋力を大切に「貯筋」のためトレーニングを体験してみる。(てんてんてまりの手がそれておもてーのとうりへとんでった とんでった…)

自分にやさしくストレッチ運動音楽に合わせてのリズム運動軽やかにダンスステップで と心地よい汗と笑いでからだをいとおしみながら、明日への元気につなぐひとときでした。



津山地域女性活動推進センター

朗読『男女共同参画社会の実現のために』

津山地域女性活動推進センターでは、世話人それぞれが、男女共同参画社会への熱い思いを原稿にまとめ、それをもとにシナリオを創作し、朗読のステージ発表を行いました。

緊張しながらも、自分たちの言葉で一生懸命に表現し、素晴らしい感動を味わうことができました。会場の皆様とともに、とても充実したウィズウィークを過ごすことができました。



おかやま女性国際交流会

報告と討論会『イギリス研修旅行報告会』

参加者20名のイギリス研修旅行の成果をスライドを用いて報告しました。

「ゆりかごから墓場まで」は過去になりましたが、各施設で重要な仕事を担うボランティアの層の厚さに驚きました。カーテン・壁紙に見られる行き届いた心配りと、職員・ボランティア丸となつての資金集めのイベント開催など感動しました。痴呆老人のための昔の家具・調度品を備えた居間と、機械で雷・嵐など自然現象を起こし、障害児に全身で感じさせる科学室は忘れられません。



14期岡山県女性のバス

朗読劇『モモタロー・ノー・リターン』

モモタロー・ノー・リターンは昔話「桃太郎」の登場人物の男と女の役割を替えてみればどんなになるかという話です。女と男の性別役割分担の根強さを問題提起する朗読劇をしました。

参加者15名で「ジェンダー」に気づき、これまでの社会通念・慣習を変えていくには、どうしたらいいのかを話し合いました。まずは、家庭から実践している報告や、地域の公民館等で男女共同参画の講座を企画して、一人でも多くの人に種を播いていく等の意見が出ました。



展示／私たちががんばってます！

いかさ女性セミナー
活動紹介のほか、ビールの王冠で作ったのれんなど資源の再利用をPR



イースト岡山女性ネットワーク
チラシ・写真などで歩みを展示 3日間ではもったいない

岡山県退職婦人教職員連絡協議会
活動状況や歩みをパネルで紹介



岡山市女性大学三期会
グループ紹介と活動の記録などを楽しくレイアウト

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会
ステーション活動の実際の写真展示と在宅での看護・介護相談

サンレディースくらしき
写真パネル・機関誌などで活動状況を紹介

C-Tくらぶ
展示で「あなたの生き方再点検！」



くらしき女性ネットワーク
ゴミ不法投棄の啓発パネルとリサイクル 喫茶コーナーも大繁盛！

まにわ女性セミナー
ふるさとの宝自慢マップ 希少価値の草花を紹介



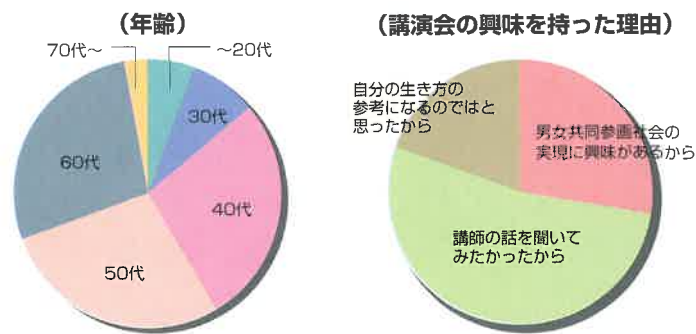
東備女性セミナー
活動の紹介のほか、会報「楷の木」、女性史「楷の木によせて」の展示など

世界女性会議岡山連絡会
設立の趣旨や活動内容の展示と記録集や報告書の販売

津山地域女性活動推進センター
結成当時から現在までの活動を写真を多めに表現！

講演会参加者の声を聞きました

- 参加者数 205名
- 回答者数 112名（回答率55%）
- 性別 女性90%、男性10%
- 年齢 20代から70代と年齢層が幅広く、40代、50代は70%強を占めています。
- 住所 岡山市と倉敷市からの参加が80%です。しかし、阿哲郡、津山市、苫田郡などの県北部からも参加をいただきました。



●ウィズフェスティバル2000講演会は、何でお知りになりましたか？

最も多かったのが、「チラシ」です。

チラシやポスター、新聞、ラジオ等で知り、自主的に参加して下さった方が、50%もありました。

●この講演に興味を持たれた理由は？（複数回答可）

「講師の話聞いてみたかったから」が最も多く54%でした。

●ウィズセンターを利用されたことがありますか？

2~5回が一番多く、はじめての方が25名でした。

●講演を聞いての感想をお聞かせください。（主な意見）

- ・辛淑玉さんのきっちりした考え方、ユーモアを交えて核心をついた話し方、理論に基づく話術の巧みに感銘した。
- ・本当の現実社会を話してもらい、考え直すポイントを知らされた。
- ・これからは生き方の発想を変えたいと考えた。
- ・もっと広い会場で多くの人に聞いてもらいたい講演だった。
- ・男性にももっと参加してもらいたかった。

※大好評でした。アンケートのご協力ありがとうございました。

ウィズフェスティバル2000 実行委員会

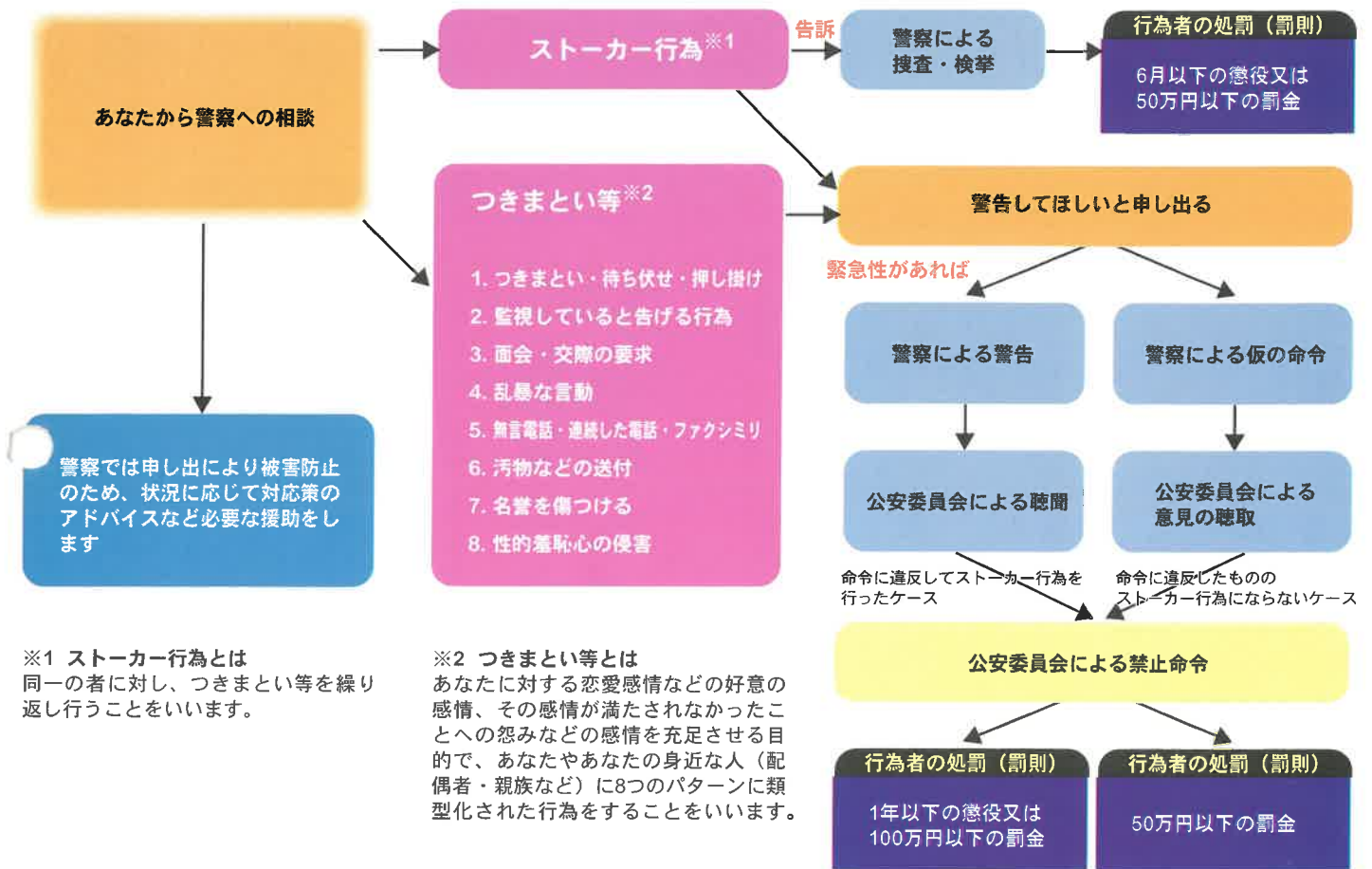
男女共同参画社会の実現に向けて、県内に広く理解と認識を深めるため、3日間にわたり開催したウィズフェスティバル2000は、ウィズセンター登録団体会員からなる実行委員会が、企画・運営にあたりました。



氏名	所属団体
植田 由子	岡山県さびの会
浦上 量代	岡山地域女性活動推進センター
小西 稔子	INAHOアイネット
坂根阿喜子	14期岡山県女性のバス
坂本 朝子	イースト岡山女性ネットワーク
佐藤 豊子	岡山県婦人問題懇話会
佐藤美津子	(社)岡山県看護協会
三近 光	メンズリブフォーラム岡山
白川 文弘	ももたろう塾OB会
高田 都	岡山県婦人問題懇話会
田中 徳子	県女性のバス13期会
時實 達枝	世界女性会議岡山連絡会
中桐美和子	岡山市女性大学三期会
永原 繁子	おかやま女性国際交流会
萩尾 寛江	C・Tくらぶ
平松 知子	レインボー・パンサーズ 岡山
藤原 庸子	東備女性セミナー
堀内ミヨ子	サンレディースくらしき
松尾智恵子	いかさ女性セミナー
松尾 美江	親子の夢と希望を支え合うフレンドスペースおひさま
水藤 恭子	メディア・フォーラムおかやま
山下千恵子	岡山地域女性活動推進センター
山本都久子	高上川女性フォーラム
吉崎 太栄	岡山女性フォーラム

ストーカー規制法の仕組み 「ストーカー行為等の規制等に関する法律」

警察にストーカー被害の相談をすると、次のような流れで対応されます。



読んでみませんか？ おすすめの本

ワズライブラリー ストーカーからあなたを守るヒント！

図書紹介



- ①図解 ストーカー対策マニュアル
*ベン・メレンデス 和田裕司
*同文書院（1997年）

ストーカーは頭が良く、情報収集能力に長けている。ストーカーから身をまもるためのあらゆる方法（尾行、電話、ゴミの出し方まで）をわかりやすく図解している。



- ③女性のためのストーカー・暴力「救急相談室」
*山田幸一
*同文書院（2000年）

ストーカー規制法にあわせた最新の情報満載。これだけは知っておきたい「対策術」「法律」「相談先」etc. 元刑事がQ&A方式であなたの不安と疑問にお答えします。



- ②遺言～桶川ストーカー殺人事件の深層～
*清水潔
*新潮社（2000年）

執拗なストーカー行為を受け続けた女子大生に起こった悲劇。被害者が助けを求めていたにもかかわらず、なぜ事件を防ぐことができなかったのか。問題点が次々と波紋のように広がっていく。



- ④妻はストーカーに殺された
*藤田博
*WAVE出版（2000年）

もう一度会いたい・・・平凡ながらも幸せな家庭は一瞬にして壊された。なんの理由もなく妻は惨殺されたのだ。遺された夫が無念の胸中を初めて明かす悲しみと怒りの手記。



ウィズセンターは土・日曜日も開館しています。
女性はもとより男性もご利用いただけます。お気軽に、お越しください。

ウィズセンターはこんなところ

男女共同参画社会とは、男女の人権が等しく尊重され、お互いが支えあい、利益も責任も分かちあえる、いわば、女性と男性のイコール・パートナーシップで築き上げるバランスのとれた本当に豊かな社会です。ウィズセンターはこうした男女共同参画社会づくりを推進していくための施設です。

1 ほしい情報が手に入ります。

- 関係機関の情報誌の閲覧や、男女共同参画に関する図書・ビデオなどの貸出のほか、人材情報も提供しています。
- 就業に役立つ情報を提供しています。

2 相談ができます。

- 女性の相談員がさまざまな悩み事に耳を傾け、解決のお手伝いをします。
- 就業に関するさまざまな相談に応じます。

3 学習できます。

- 男女共同参画のための各種講座を行っています。
- 再就職に役立つ技術講習会を行っています。

4 便利な施設が利用できます。

- 男女共同参画に関する県民のみなさんの活動を支援しています。
- 男女共同参画に関する活動の活性化と交流を深めるために、会議室、交流サロン、作業室などを提供しています。

ウィズセンター利用のご案内

With Center GUIDE

開館時間 …… 火～土曜日 ● 9:30～20:00
日・祝日 ● 9:30～17:00

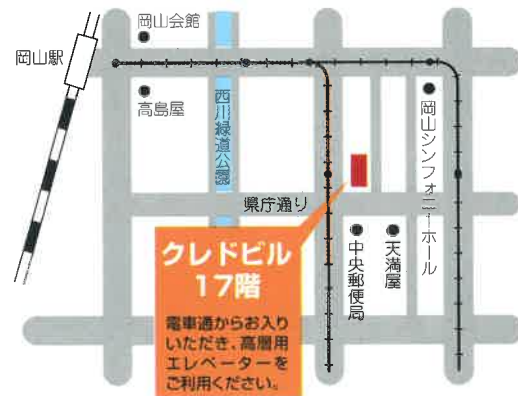
相談員による総合相談 就業相談 …… 火～土曜日(祝日を除く) ● 9:30～17:00
(受付は16:30まで)

特別相談(予約制) …… 弁護士による法律相談 ● 原則第2・4金曜
医師によるからだの相談 ● 原則第1土曜日

休館日 …… 月曜日及び年末年始

電話 …… 086-235-3307 (代表)
086-235-3310 (総合相談)
086-235-3309 (就業相談)

ホームページ …… <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/>



医師によるからだの相談

～誰にも話せず、一人で悩んでいませんか～

ウィズセンターでは、性やからだの悩みに関する相談に、医師が耳を傾け、一緒に考える特別相談を行っています。お悩みの方は、ご相談ください。

- 日 時：原則として毎月第1土曜日、16:30～
※あらかじめ、お電話のうえお越しください。
- 協力医師：金重恵美子(岡山県男女共同参画推進協議会委員)
- 相談料：無料
お申し込みお問い合わせは：086-235-3310

交通案内 …… 岡山駅から徒歩10分
バス●NTT電話局前下車すぐ
天満屋バスターミナルから徒歩2分
市内電車●郵便局前下車すぐ

ウィズセンター



770075794

ウィズ第11号(平成13年1月発行)
編集・発行/岡山県男女共同参画推進センター
〒700-0821 岡山市中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル17F
TEL(086)235-3307(代) FAX(086)235-3306
印刷/友野印刷株式会社



古紙配合率100%再生紙を使用しています